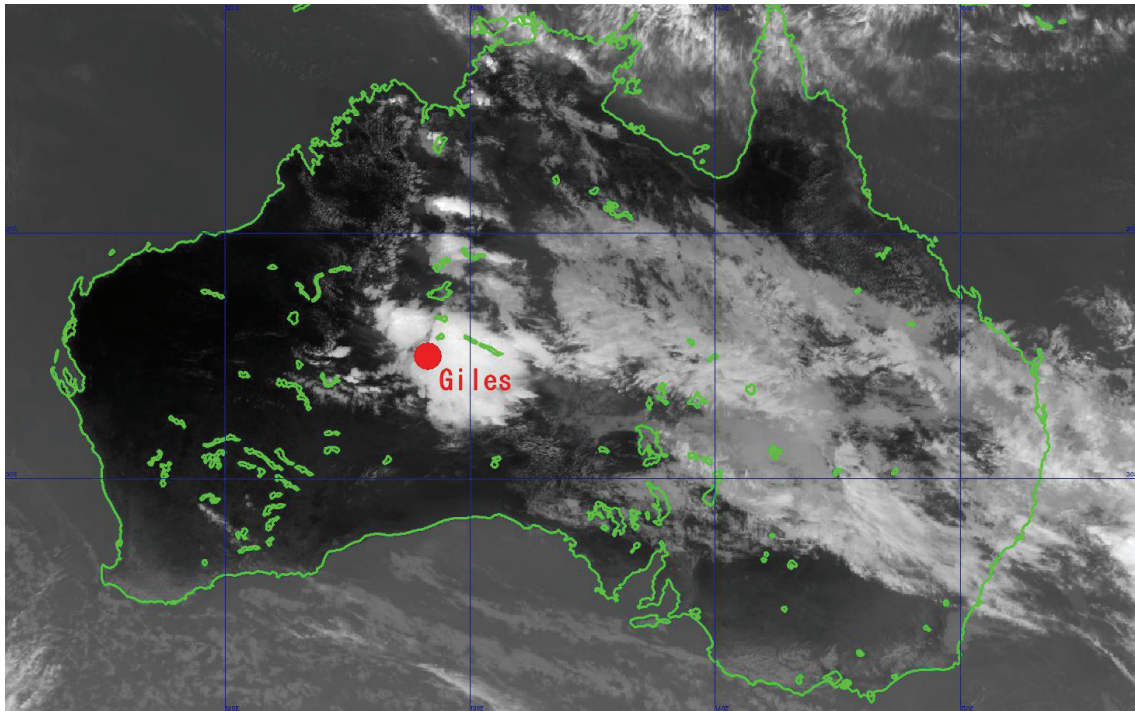


今月の気象衛星画像 (2005年10月)



2005年10月14日15時の赤外画像

オーストラリア内陸部で発生した積乱雲

オーストラリア内陸部は非常に乾燥した気候で、グレートヴィクトリア砂漠やギブソン砂漠が広がり、また観光地として有名なエアーズロック付近には乾燥した高地がある。このような地域では、地表付近の気温は高くても大気が乾燥しているために、対流性の雲が発達することはあまりない。

しかし、この日の画像では Giles という観測所付近で積乱雲が発生しているのがわかる。地上で観測された湿度は 57%、10月の平均湿度(33%)と比べるとやや湿っていた。この日の地上天気図では、北西部沿岸付近に低気圧があり、この低気圧の東側を回り込む湿った空気が内陸部まで入り込んだものと考えられる。一方、500hPaの気温は -15.9°C であり、10月の平均気温(-10.4°C)と比較すると上空には寒気が入り込んでいたため、対流活動を活発化させたものと考えられる。オーストラリア内陸部でも、このような条件が揃うと、しばしば積乱雲が発生することがある。

(気象衛星センター)